

012	2002	事務事業名	観光振興事業	細事務事業名		公的関与	8
-----	------	-------	--------	--------	--	------	---

PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光課	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	5 観光・レクリエーションの振興		主要施策	(1)観光振興体制の確立				
	事業の対象	市内外の観光客				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市の観光・物産の情報発信、情報収集、更にお問い合わせ等への対応を行い、交流人口の拡大により、本市経済の活性化、地域の発展を目指します。			今年度							
	活動内容	市内観光・物産情報の発信				市内観光イベントの支援及び市外観光イベントへの参加							
		市内観光・物産への問い合わせへのきめ細かな対応				観光物産協会への支援							
		観光関係の各種調査事務											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
		観光入込み客数		観光客増加度		千人	目標 1,240	1,240	1,240	1,300			
市観光物産協会会員数		観光物産協会会員数		人	目標 120	120	120	120					
					実績 1,138	1,090							
					実績 110	104							
					目標 100,000	100,000	100,000	100,000					
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	20 千円	842 千円	1,249 千円								
	計(A)	20 千円	842 千円	1,249 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.496 人	3,000 千円	0.496 人	3,023 千円	0.496 人	2,982 千円					
		臨時職員工数・経費	0.313 人	587 千円	0.313 人	589 千円	0.313 人	608 千円					
	全体事業費(A+B)		3,607 千円		4,454 千円		4,840 千円						
一次評価者	商工観光課	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	観光情報の発信、問い合わせ対等により、市内の観光地を積極的にPRし、観光客誘致を行い、交流人口を拡大させることにより、地域経済の活性化を図る必要があります。												
有効性	本市の観光・物産のPRをすることにより、本市に興味関心を持ち訪れる人が多くなることは、地域活性化につながる大切な事業です。												
達成度	市内の個々の観光施設は、市内外や県外からも多くの方が訪れるようになってきていますが、さらなる「東温市」の認知度UPが急務となっています。												
効率性	松山市、砥部町との広域観光連携により、効果的に事業を行っています。また、県内外の市町との連携にも取り組んでいます。												
当面の課題	新たな観光ルートの開発に取り組み、愛媛大学、市観光物産協会、市商工会、さらに地域の方々と連携して、これに取り組み、「まちづくり型観光」という新たな東温市オリジナルの観光モデルをコンセプトにガイドマップを作成することができました。これをベースに、周知活動、モニターツアーなどに取り組む必要があります。												
改革計画	市観光物産協会と連携し、作成したガイドブックを基に、魅力あるモニターツアーを提供し、本市のPRに努めます。また、広域観光連携推進協議会の事業を充実させ、観光客の誘致に積極的に取り組みます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	更なる本市のPRに努めるため、市観光物産協会と連携し、ガイドブックの更新・増刷するとともに、モニターツアーのブラッシュアップにより魅力ある観光コースを提供していきます。また、広域観光連携推進協議会の事業の充実により、更なる観光客の誘致に取り組みます。												

No.	012	—	2007	事務事業名	観光宣伝事業			細事務事業名				公的関与	8
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	18年度	～	年度	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	5 観光・レクリエーションの振興		主要施策	(1)観光振興体制の確立				
	事業の対象	県内外の観光客				根拠法令							
	事業の目的	最終的	本市の魅力ある観光地や特産品のPRを積極的に行い、認知度のUPを図り観光客の誘致に取り組み、交流人口の拡大を目指します。最終的には、定住人口の増加、地域経済の発展につながるよう取り組みます。				今年度	同上					
	活動内容	①	市長をトップとした観光PRキャラバン隊を編成し、本市の観光・物産のPR活動を行います。				④						
		②	観光・物産宣伝用資材の作成				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標		
		観光PRキャラバン活動数	実施回数			回	目標	2	2	2	2		
実績							2	2					
観光入込客数		観光客数			人	目標	1,240	1,240	1,240	1,240			
						実績	1,138	1,090					
広域観光連携PR活動数		実施回数			回	目標	3	3	3	3			
	実績					3	4						
予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費				
直接事業費			平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
	国・県支出金		853 千円	853 千円	2,490 千円								
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
	一般財源		4,561 千円	2,726 千円	6,171 千円								
	計(A)		5,414 千円	3,579 千円	8,661 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費		0.174 人	1,053 千円	0.174 人	1,060 千円	0.174 人	1,046 千円					
	臨時職員工数・経費		0.030 人	56 千円	0.030 人	56 千円	0.030 人	58 千円					
全体事業費(A+B)		6,523 千円		4,696 千円		9,766 千円							
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本市の認知度をUPさせるためには、市長自らのトップセールスによる観光PRキャラバンはとても効果的であり、地域活性化に繋がる必要な事業です。												
有効性	観光PRキャラバンを継続的に実施することにより、本市を知らない方々に、直接、本市の魅力を伝えることができるとともに、マスメディアにも取り上げられることもあり、非常に有効です。												
達成度	観光PRキャラバンにより、あまり知られていない観光スポットや物産について周知することができており、多くの都道府県からの観光客が増加しつつあります。												
効率性	広域観光連携推進協議会や本市観光物産協会と連携し、道後温泉に宿泊する観光客の本市へ回遊させる宣伝活動等を実施していきます。												
当面の課題	観光PRキャラバン時に、市内の魅力ある観光スポットや物産を盛り込んだモデルコースを紹介するガイドブック等を作成する必要があります。また、さくらの湯、坊っちゃん劇場、利楽などの誘客数を増やす仕組みが必要です。												
改訂計画	中四国を中心に、本市の魅力を伝える観光PRキャラバンを実施するとともに、インターネット等を活用した事業に取り組みます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	観光PRキャラバンにより、あまり知られていない観光スポットや物産について周知することができており、更なるPRに努めます。また、東温市の特産品(ブランド)の創出やさくらの湯などの新たなパンフレットの作成などに取り組みます。PRのための人員確保が難しくなっており、宣伝のための人員、予算の増加が必要と思われます。												